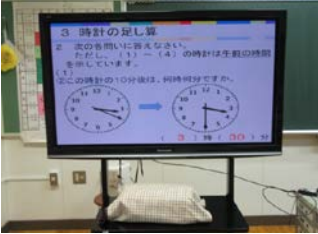


教材・支援機器活用実践事例(特別支援学校)

実践年度・タイトル		平成28年度
		パワーポイントを活用した数学の授業実践(時計の計算)
授業について	教科名等 (該当する教科名等を選択。当てはまらない場合はその他を選択し、次の単元・題材名の欄に記入。)	<input type="checkbox"/> 国語 <input type="checkbox"/> 社会 <input checked="" type="checkbox"/> 算数/数学 <input type="checkbox"/> 理科 <input type="checkbox"/> 生活 <input type="checkbox"/> 音楽 <input type="checkbox"/> 図画工作/美術 <input type="checkbox"/> 家庭/技術・家庭 <input type="checkbox"/> 体育/保健体育 <input type="checkbox"/> 道徳 <input type="checkbox"/> 外国語/外国語活動 <input type="checkbox"/> 総合的な学習の時間 <input type="checkbox"/> 特別活動 <input type="checkbox"/> 自立活動 <input type="checkbox"/> 各教科等を合わせた指導 <input type="checkbox"/> その他の教科 <input type="checkbox"/> その他()
	単元・題材名	数学「時計と暦」 題材名「何時間何分後の計算」
	授業の目標	生活に必要な時計や暦などの正しい使い方が分かり、工夫して使うことができる。
	観点別学習状況の評価の観点 (教科の特性により設定した観点がある場合は「その他」を選択し記載。)	<input type="checkbox"/> 「知識・理解」 <input type="checkbox"/> 「技能」 <input checked="" type="checkbox"/> 「思考・判断・表現」 <input checked="" type="checkbox"/> 「関心・意欲・態度」 <input type="checkbox"/> その他()
学習集団と子どもの実態	学校・学部・学年・人数	<input checked="" type="checkbox"/> 特別支援学校 <input type="checkbox"/> 就学前 <input type="checkbox"/> 小学生 <input type="checkbox"/> 中学生 <input checked="" type="checkbox"/> 高校生以降 <input type="checkbox"/> 特定されない 3年 5人
	対象の障害	<input type="checkbox"/> 視覚障害 <input type="checkbox"/> 聴覚障害 <input checked="" type="checkbox"/> 知的障害 <input type="checkbox"/> 肢体不自由 <input type="checkbox"/> 病弱・身体虚弱 <input type="checkbox"/> 言語障害 <input checked="" type="checkbox"/> 自閉症 <input type="checkbox"/> 情緒障害 <input type="checkbox"/> LD(学習障害) <input type="checkbox"/> ADHD(注意欠陥/多動性障害) <input type="checkbox"/> その他
	子どもの課題(特性・ニーズ)	<input checked="" type="checkbox"/> 見る <input checked="" type="checkbox"/> 聞く <input checked="" type="checkbox"/> 話す <input checked="" type="checkbox"/> 読む <input type="checkbox"/> 書く <input checked="" type="checkbox"/> 計算する <input type="checkbox"/> 推論する <input type="checkbox"/> 運動と姿勢 <input type="checkbox"/> 日常生活活動 <input type="checkbox"/> 不注意 <input type="checkbox"/> 多動性-衝動性 <input checked="" type="checkbox"/> 社会性・コミュニケーション <input checked="" type="checkbox"/> 覚える・理解する <input type="checkbox"/> その他 ・時計から時間を読み取れるが、時間の計算は苦手な生徒が多い。 ・コミュニケーションへの意欲はあるものの、語彙が少ないため相手に伝わりにくい。
ICT活用について	使用した支援機器・教材の名称と画像 (使用した支援機器・教材の名称を記載し画像を挿入。なお、特定の製品に特化した実践の場合は製品名を記載。)	【ハードウェア】 ・パソコン ・テレビ 【ソフトウェア】 ・パワーポイント(時計の図、問題と解答を投影)
	活用のねらい	Aコミュニケーション支援(<input type="checkbox"/> A1意思伝達支援 <input type="checkbox"/> A2遠隔コミュニケーション支援) B活動支援(<input checked="" type="checkbox"/> B1情報入手支援 <input type="checkbox"/> B2機器操作支援 <input type="checkbox"/> B3時間支援) C学習支援(<input checked="" type="checkbox"/> C1教科学習支援 <input type="checkbox"/> C2認知発達支援 <input type="checkbox"/> C3社会生活支援) ・時計の図や解答をパワーポイントを用いて表示することで、答えを確認しやすくする。 ・アニメーションをつけることで、生徒にとって分かりやすくする。 ・今までの学習活動の様子を写真を用いて生徒に見せることによって、既習事項を想起しやすくして、学習内容の理解を促すようにする。
授業に授業展開と画像 お業 け展 る開 支 援	授業展開と画像 (授業の様子、ICT活用場面の画像を挿入。)	・時計教材を使いながら、時間の進み方を理解する。 ・話し合いながら協力して問題を解き、発表する。 
効果・評価	子どもの様子や変容 および授業の評価	・生徒の様子 問題の図と答えの図の両方を見ながら、答えの導き方について確認することができた。 ・生徒の変容 視覚的な教材を使って、時間の問題に答えられるようになってきた。 ・授業評価 パワーポイントの活用で学習活動の写真や予定表の写真などを多く入れることで、実際に行った活動や実生活を思い浮かべながら効果的に授業を進めることができた。